



# ニュースリリース

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会  
こども育成課  
～街とともに 未来を育む 人づくり～

## 札幌市中島児童会館開館75周年記念第一弾行事



### 『かもくま祭×あそびのフェスティバル』開催

札幌市児童会館・ミニ児童会館を管理運営している(公財)さっぽろ青少年女性活動協会では、札幌市中島児童会館と併設する札幌市こども人形劇場こぐま座の一体運営を行っています。今回は、その特色を生かした事業のひとつ「かもくま祭×あそびのフェスティバル」の様子をお伝えいたします。



中島児童会館をバックに野外ステージでは、こぐま座こども人形劇団、なかじまこども雑技団が観客を盛り上げます

7月7日(日)、「かもくま祭×あそびのフェスティバル」を中島公園(中島児童会館前特設会場)にて行いました。この催しは中島児童会館、こぐま座の開館した「7月」に開催するお祭り『かもくま祭』(2007～)と、全市向け児童会館イベント『あそびのフェスティバル』(1991～2005)を掛け合わせた子どもから大人まで楽しめるイベントです。「人形劇専門劇場と併設した児童会館」が発信する児童文化と児童健全育成の柱となるあそびを体験する場として昨年より実施されています。『かもくま祭』は、中島児童会館・こぐま座と地域の方々、団体で実行委員会を結成し企画運営を行っています。



この催しには、コマやベーゴマ、パッチ、竹返しをはじめとする伝承あそびを世代継承していくという役割も担っています。

当日は、小中学生、親子連れをはじめ延べ1,000人を超える来場者が、こぐま座で活動する市民劇団、パフォーマーによるパフォーマンス、そして地域の方々やスタッフが運営する手作りあそびや工作、児童会館職員が扮するあそびの達人との伝承あそびなど各種コーナーを楽しみました。

中島児童会館は、日本初の公立児童会館として1949年に誕生し、戦後の貧しいなか、地域の方や学生が子どもたちのために本の読み聞かせなどの活動を始めました。地域の子どもたちを地域の方々と共に育てるというこの姿勢は開館75周年を迎えた今も私たちとともにあります。そして、札幌市児童会館全館で脈々と受け継がれています。

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会こども育成課では、地域の子どもたち同士の交流と活性化を図り、そこに大人が見守る、ともに参画することで、子どもたちの健全育成の場が築かれ図られていくと考えます。これからも地域に根づくバトンをつなぎ、つながりの輪を広げ、子どもたちの育ちの場を支えていきます。



#### <(公財)さっぽろ青少年女性活動協会>

札幌市児童会館、ミニ児童会館をはじめ、こどもの劇場やまびこ座・こども人形劇場こぐま座、若者活動センター・若者支援総合センター、札幌Lプラザ公共4施設、青少年山の家、定山溪自然の村、北方自然教育園、千歳市児童館・学童クラブの管理運営をとおして、「人とのつながりによる魅力あふれる未来社会の創造」を実現していきます。

#### <本件に関するお問い合わせ先>

こども育成課 担当 細川 ikuseika-release@syaa.or.jp TEL011-671-4121  
(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10  
<HPアドレス> <http://g-kan.syaa.or.jp>

